

めぐみイエス・キリスト教会

2026年1月11日(日)第二主日礼拝
午前10時より
週報「通算第790号」



2026年標題聖句 ヨハネの福音書14章1節～2節

《「あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、また私を信じなさい。私の父の家には、住まいがたくさんあります。もしかしたら、あなたがたに言っておいたでしょう。あなたがたのために、私は場所を備えに行くのです。」(新改訳第Ⅱ版)》

礼拝 毎週日曜日 午前10時～11時

聖書の学びと祈り会 每週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木竜実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

- 【賛美 I】 新聖歌209「慈しみ深き」 p. 316
【交説文】 №.3 詩篇第16篇 p. 880
【賛美 II】 新聖歌233「驚くばかりの」 p. 354

【使徒信条】

【主の祈り】

【前回説教】

- 【賛美 III】 オリジナル曲「神の都へ」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書14章1節～3節(旧版第2版)

- 【礼拝説教】 「備えられた場所」

【聖餐式】

- 【賛美 IV】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

- 【頌栄】 新聖歌63 「父・御子・御靈の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所(ヨハネの福音書14章1節～3節)

14:1 「あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、また私を信じなさい。

14:2 私の父の家には、住まいがたくさんあります。もしかしたら、あなたがたに言っておいたでしよう。あなたがたのために、私は場所を備えに行くのです。

14:3 私が行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたを私のもとに迎えます。私のいる所に、あなたがたをもおらせるためです。」

●ポイント1.「あなたがたは心を騒がしてはなりません」とは？

※マタイの福音書24章6節～7節「主イエスの預言から」（新約p.50）

24:6 「また、戦争や戦争のうわさを聞くことになりますが、気をつけて、うろたえないようにしなさい。そういうことは必ず起りますが、まだ終わりではありません。

24:7 民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起ります。」

●ポイント2.「備えられた場所」とは？

※ヨハネの黙示録21章1節～2節「新しいエルサレム」（新約p.396）

21:1 また私は、新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。

21:2 私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが夫の為に飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとから、天から降って来るのを見た。

●ポイント3.「また来て、あなたがたを私のもとに迎えます」とは？

※第Ⅰテサロニケ4章14節～17節「パウロの奥義」（新約p.412）

4:14 イエスが死んで復活された、と私たちが信じているなら、神はまた同じように、イエスにあって眠った人たちを、イエスと共に連れて来られるはずです。

4:15 私たちは主の言葉によって、あなたがたに伝えます。生きている私たちは、主の来臨まで残っているなら、眠った人たちより先になることは決してありません。

4:16 すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、

4:17 それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主と共にいることになります。

◎先々週のメッセージ【私たちのうちに働く神の力】

《本日は、私たちの教会がサポートさせていただいています、台湾の松本望美宣教師がメッセージをして下さいました。

まず、ドラゴン祈祷会について証して下さいました。これまでに2回行なっており、次回は1月16日(金)だとのことです。あつという間に4時間経ってしまったとのことでした。

次に、11月の台湾宣教の報告をされ、台風の中、なんとか飛行機が飛び、無事に台北に到着したことへの感謝、また、滞在中、そこでみどりさんと言う、日本語ペラペラの96歳のおばあさんと深く関わったことなどを分かち合いで下さいました。

台湾に住んでいて、日本語を日常会話としている「日本語族」への伝道を、すでに十数年以上にわたって続けておられます、毎年、それまでに知り合った多くの人々が召されて行くとのことでした。

あと数年で、第二次世界大戦を知っている日本語族の人々は、ほとんどいなくなるとのことです。彼らの二世、および三世の方々は、日本語を聞けばなんとか分かる程度で、台湾語が標準のことでした。

さて、メッセージですが、「私たちのうちに働く御力」とは、聖霊のことです。聖霊は、まさに「私たちが願うところ、思うところのすべてをはるかに超えて行なうことのできる方」であられ、この聖霊と歩むことの大切さ、そして素晴らしいところについて力強く語って下さいました。

神様は、まさに、私たちの願っていること、また思っていることをはるかに超えた栄光を、私たちに現わして下さいます。

この神様が、いつも共にいて下さるのですから、クリスチャンは、前を向いて進んで行くことが出来るのです。感謝します。》

◎お知らせ

※1月4日(日)鈴木夫妻は、友人の飯村雅幸牧師の聖教会インター ハートチャペル(佐倉)の礼拝に参加させていただきました。1月18日 第三主日礼拝(日)の午後、鈴木師は、聖書キリスト教会大会(合同礼拝)に参加します。よって、礼拝終了後は、すぐでの解散となります。